

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	後山地区	令和5年3月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	44.4ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	28.0ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17.6ha
i うち後継者不在の農業者の耕作面積の合計	9.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・現状の担い手のほとんどが高齢化しているうえ、後継者が不在である。・農地は法面や土手の面積が広くて不整形なので、管理が困難。他者への受委託も難しい。・鳥獣による農業被害が多く、防護に係る手間や費用が高んでいる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・現状、地区内には認定農業者等の担い手が複数いるが、現状維持が精一杯で、規模拡大は困難である。
<ul style="list-style-type: none">・収益性の高い品目が見つければ、現状の担い手の子ども世代が戻って来れる可能性はある。